

15. 歴史からみるアジアの中の日本



開 講 日 程	対 面	令和7年1月4日(土)、1月18日(土)、1月25日(土) 全3回	
	時 間	14:00 ~ 15:30	
	対面会場	駅南キャンパス ときめいと 新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラカ1 2階	
YouTube 配信		—	
受 講 料		3,300円 ※ 学生(大学生以下)は無料です	
募 集 人 数		40人 先着順	申込締切 12月15日(日)

講座概要

現在日本は周辺諸国と外交上の困難を抱え、また周辺諸国に対する国民感情も悪化しています。

こうしたなかで、歴史の深みからアジアの中の日本を見直し、真の平和友好関係を構築するため、日本史とアジア史の教員が2人ひと組となって、ミニ講義と対談を行い、アジアと日本の歴史についての認識を深めてもらいます。具体的には各回に日本史専門の講師と、アジア史専門の講師が30分ずつのミニ講義を行い、のこり30分で聴講者も交えた討論によって、認識を深めていきます。

	日 程	講義題目	講義内容	講 師
第1回	令和7年 1月4日(土)	豊臣秀吉の朝鮮出兵と東アジア	豊臣秀吉はなぜ朝鮮出兵をしたのか。当時の朝鮮や明はこれをどう受け止めたのかを考えます。	人文社会科学系(人文学部) 教授 山内 民博 准教授 片桐 昭彦
第2回	1月18日(土)	東アジア海域の近世	明・清の海禁政策と日本の鎖国制度はどう違うのか、両国の交流の実態はどうだったのかを解き明かします。	人文社会科学系(人文学部) 教授 原 直史 准教授 村上 正和
第3回	1月25日(土)	中国と日本にとっての「満蒙」	日本防衛の生命線と謳われ多くの移民も送り出された「満蒙」。両国にとってのその意味を探ります。	人文社会科学系(人文学部) 教授 広川 佐保 教授 中村 元

講師の所属および職名は令和6年4月1日現在のものです

■ 対面会場では、職員が受講風景の写真撮影を行う予定です。

撮影した写真は、新潟大学公開講座の広報(募集案内、HP等)および学内での実施記録用のみ使用します。使用する写真は、横や後向き、顔が小さく写っているもの等とし、明らかに個人が判別できるものは使用しません。写真の撮影、使用について同意いただけない場合は、下記【お問い合わせ】までご連絡ください。

※ 発熱や倦怠感、咳などの症状がある場合は、出席をご遠慮願います。

▲ web申込フォームからお申込みいただくと、受講申込受付メール(自動送信)が届きます。受付メールが届かない場合、メールアドレスの誤入力や配信トラブルが考えられますので、下記【お問い合わせ】まで連絡をお願いいたします。

【注意事項】

・悪天候等で開講できなかった場合の対応については、受講者に別途お知らせします。



【お問い合わせ】